

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第四百四號 明治三十五年七月九日 和歌山縣

○公文

和歌山縣訓令甲第四十二號

郡役所
市役所
町村役場

漁業法ニ依ル漁業ノ免許ト官ニ屬スル公有水面ノ使用免許トノ關係ハ左ノ通相得便宜當者ニ示シ置クヘシ

明治三十五年七月五日

和歌山縣知事 椿 薫 一 郎

記

- 一 漁業法施行規則第二條第七號及第三條第一號又ハ第二號(工作物ノ施設共ノ他ノ行為ニ依リ水面ヲ境界スルモノ)ニ該當スル組合ハ其ノ水面ノ使用ニ付テハ明治二十二年內務省訓令第三十六號第七條ノ規定ニ依ルモノトス
- 二 前項以外ニ該當スル組合ニ於テモ漁業ノ爲ニ工作物等ヲ施設スルモノ、如キハ其ノ工作物等施設ノ區域ニ付テハ前項同様ノ例ニ依ルモノトス
- 三 第三項以外ニ該當スル組合モ水面ノ使用ニ付テハ明治二十三年內務省訓令第三十六號

縣報第四百四號

明治三十五年七月九日

第三種郵便物認り

一

第九條ノ規定ニ依ルモノトス但漁業ノ方法ニシテ水面ニ特定ノ行為ヲ施サズ單ニ或ル區域ニ於テ漁業ヲ爲スモノ、如キハ水面使用ノ規定ニ依ルコトヲ要セサルモノトス

四 慣行アル場所ニ於テ其ノ慣行ニ從ヒ漁業ヲ爲スモノハ水面使用ノ規定ニ依ルコトヲ要セサルモノトス

五 公有水面使用ノ期間ハ漁業ノ免許期間ト同一ナルコトヲ要ス漁業法第九條第一項ニ依リ停止シタル期間ハ公有水面使用ノ期間ニ算入セサルモノトス

六 漁業ノ爲ニスル公有水面使用ノ免許權ハ擔保ニ供セシムヘキモノニアラス

七 漁業ノ爲ニスル公有水面使用ノ免許權ハ行政廳ノ許可ヲ受スレバ漁業權ト共ニ相續、讓渡共有又ハ貸付スルコトヲ得但異動ハ相續人又ハ當事者雙方ヨリ届出ヲ爲サシメ命令書ノ變更ヲ要スルモノハ其ノ手續ヲ爲サシムヘキモノトス

八 漁業ノ爲ニスル公有水面使用ノ出願ニ付テハ漁業法施行規則第十八條ノ規定ニ準スルコトヲ得

○和歌山縣告示第百九十一號

明治三十五年六月本縣告示第百七十一號高知縣ニ於ケル船舶檢疫告示中佐賀縣ノ次ニ長崎縣ヲ追加スル旨通知アリタリ

明治三十五年七月四日

和歌山縣知事 椿 義一郎

○和歌山縣告示第百九十二號

本月二日本縣告示第百八十六號農商務省蠶業講習所講習生募集ニ關スル告示ニ記載セタル左記事項中へ左ノ一項ヲ加フ

明治三十五年七月四日

和歌山縣知事 椿 義一郎

六願書及履歷書等書式ハ七月三日第五千六百九十八號官報ニアリ

○和歌山縣告示第百九十三號

西牟婁郡田邊町大字榮町

中 高 永 二 郎

右ノ者今般外務大臣ヨリ縣下西牟婁郡田邊町厚生移民株式會社内地ニ於ケル移民取扱業務

代理人ニ許可セラレタリ

明治三十五年七月七日

和歌山縣知事 椿 義一郎

○辭 令

伊都郡九度山分署長

警部 寺 井 榮 藏

縣報第百四號

明治三十五年七月九日

第三種郵便物認可 二

和歌山警察署勤務ヲ命ス

伊都郡警察署長

警部 吉 田 稷

兼伊都郡九度山分署長ヲ命ス

警部 島 越 吉

和歌山警察署兼務ヲ免ス

七月四日

○町村長ノ異動

海草郡雜賀崎村長 木 村 勸 藏

明治三十五年七月七日認可

○觀 測

明治三十五年七月四日ヨリ三日間當地氣象概況

種 類	七 月 四 日	七 月 五 日	七 月 六 日
平 均 氣 壓	七百五十五耗〇	七百五十六耗四	七百五十四耗五
平 均 氣 温	二十三度〇	二十一度四	二十二度九
最 高 氣 温	二十七度三	廿六度三	二十七度七

可認物便郵三第日八月五年三十三治明

原簿第四百號

明治三十五年七月九日

第三種郵便認可

三表

最低氣温	最多風向	平均風力	天候	雨量	記事
十九度六	北	四米三	晴	一毫三	午前三時三十九分 震アノ全八時五十七 分沿海ノ警戒ヲ解除 ス
十八度〇	西	二米五	晴	!	
十八度四	西	二米四	晴	!	

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十五年七月八日印刷

一頁五文

和歌山郵便局第三十三番地